

チョコミント (ver.1)
1,300円

国産の生のミント葉をメインに数種類のミントを配合し、あっさりとした味に仕上げている。チョコレートのエスプーマは生チョコのような濃厚な味わい。



日光天然氷「松月氷室」の水で作る、素材の味を生かしたかき氷

栃木県日光市でじっくりと時間をかけて作られる「松月氷室」の天然氷は、量に限りがありとても貴重なもの。ふわっと溶ける食感に魅了される人も多い。旬の果物を使ったシロップ、エスプーマ、クリーム類もこだわりの自家製だ。



もも弁 1,650円〜

時間をかけて火入れした自家製モモシロップと大きく切った果肉を絡め、氷とミルクエスプーマの上にたっぷりのせている。モモの味わいをより感じられるメニューだ。価格は品種により変動する。

雪見堂

かき氷提供期間
通年

行方市羽生20-1
TEL.080-9654-5678
11:00~17:00
月曜定休 (7~9月は無休) ※夜は完全予約制。7~9月の土日祝日は混雑緩和のためプラスチックでの提供。最新情報はSNSで確認を。



今年4月29日にオープン！8月にはパイナップルや白桃のかき氷も登場予定

南アルプス八ヶ岳の蔵元八義の天然氷を使用したかき氷。地元農家と直接取り引きをし、県産素材を使った自家製ソースが自慢だ。全てのかき氷に練乳と追いソースが付いているのがうれしい。料金は統一で、Rサイズ900円、Lサイズ1,500円。



いちご Rサイズ 900円
県産とちおとめ100%使用のソース。とちおとめをクラッシュしてソースを作っている。程よい酸味がたまらない。

いちご&いちごアイス
880円

とまとミルクの雪氷と、いちこの国産生シロップ。まるでいちごミルクのアイスを食べているようで、思わず笑顔に。



美容トマトのkokをプラスした韓国風かき氷「雪氷」が登場

健康成分と甘みたっぷりの「美容トマト」専門農場に、この夏韓国風かき氷「雪氷」が新登場。ミルク味の氷には、隠し味として美容トマトをプラス。マイナス50度で一気に雪状にするので、ふわふわの口当たりが心地よい。抹茶やチョコなど週替りで新メニューが登場。

ドロップファーム

かき氷提供期間
7~11月 (予定)

水戸市成沢町870-7
TEL.090-9254-3234
10:00~16:00
無休



生メロン
Rサイズ 900円

メロンは県産アンデスメロンまたは、クインシーメロンを使用。ゴロゴロした果肉もたっぷり楽しめる。



光蔵氷菓店

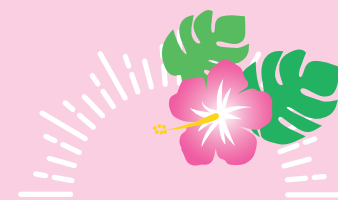
かき氷提供期間 通年

大洗町港中央11-2
大洗シーサイドステーション1F
TEL.なし
11:00~18:00
月曜定休
※問い合わせはInstagramにて



自家製さっぱりトマト 880円

ジュースやコンフィチュールなど、自慢の美容トマトをたっぷり使用。酸味と甘味がきいた、夏にピッタリの一品。フォトスポットも用意されているので、おしゃれ写真を撮影してみよう。



夏のお出かけ

アウトドア & かき氷

Part.1 かき氷

専門店が続々登場し、こだわりのかき氷を提供するお店が増えてきました。きれいで、かわいくて、そしておいしい！ そんなかき氷店を紹介します。

国営ひたち海浜公園

8月28日まで「とびっきり!夏フェア!」開催中の園内では、8月中旬に2カ所でヒマワリを観賞できる。懐かしい農村の風景が広がるみはらしの里には、約2万5千本のヒマワリ。みはらしの丘に並ぶ緑のコキアとともに夏の風景が楽しめる。一方、泉の広場フラワーガーデンでは、30品種約5,500本という、多種多様なヒマワリを見ることができる。

園国営ひたち海浜公園管理センター
TEL.029-265-9001



みはらしの里

泉の広場フラワーガーデン

なかLuckyFM公園 (那珂総合公園)

約4ヘクタールの畑に、25万本のヒマワリが咲き誇る。8月中旬から、期間限定で見晴らし台が設置され、一面に咲くヒマワリと青空のコントラストを楽しむことができる。なかひまわりフェスティバル2022当日は、ステージイベントや模擬店をはじめ、フィナーレの花火まで1日楽しむことができる。

なかひまわりフェスティバル2022
8月27日(土)11:00~19:40 ※荒天中止
園那珂市観光協会 TEL.029-298-1111



宮山ふるさとふれあい公園周辺

筑西市明野地区にある宮山ふるさとふれあい公園近くを会場に、約4ヘクタール約100万本の花が咲く。ここで見られるのは八重ヒマワリで、花の中心までびっしりと花びらで覆われた姿は、ゴッホの絵画を彷彿とさせる。筑波山とヒマワリの組み合わせも必見だ。期間中は花を持ち帰れる「切り花体験(有料)」を行っている。



あけのひまわりフェスティバル
8月27日(土)~9月4日(日)9:00~16:00
園筑西市観光振興課 TEL.0296-20-1160



いばらきフラワーパーク

園内で見られる品種はサンフィニティなどで、1株につき1シーズンで100輪以上咲く小ぶりな愛らしい花が見られる。テラス一面がビタミンカラーになり、絵本の風景のようになる。ヒマワリの見頃の時期は、ヒマワリ一輪摘みなどの特別イベントを毎日開催する。「夏の草花で花かんむり作り」「夏のボタニカルアロマミスト作り」といった100の体感アクティビティも充実している。

ヒマワリ一輪摘み
8月中旬頃まで
100円(1人1回まで)
ヒマワリ花すくい
8月中旬頃まで
無料(1人1回まで)



園いばらきフラワーパーク TEL.0299-42-4111



夏のお出かけ

アウトドア & かき氷

Part.2 アウトドア

パート2では、屋外イベントやアウトドアアクティビティをご紹介します。広々とした空間で、アクティブに過ごそう。感染症対策も忘れずにね。

※新型コロナウイルス感染予防対策のため、イベントが中止・延期、内容が変更になる場合があります。

どっちがどっち？ いわいとしお×岩井俊雄 —100かいだてのいえとメディアアートの世界

茨城県近代美術館

7月2日(土)~9月19日(月・祝)



絵本作家
いわいとしお ×
メディアアーティスト
岩井俊雄

1962年愛知県生まれ。筑波大学大学院修士課程芸術研究科修了。テレビ番組やゲームのソフト制作、電子楽器開発など多岐にわたる活動を展開し、現代日本美術展大賞、文化庁メディア芸術祭大賞、芸術選奨文部科学大臣賞ほか数多く受賞。娘との手作りおもちゃをきっかけに、2006年より絵本作家としての活動を開始。2008年刊行の『100かいだてのいえ』は、子どもたちに大人気となり、シリーズ累計発行部数400万部を数える。現在、絵本を通して、子どもや親子にもものづくりの楽しさを伝えるワークショップを多数開催している。

大人気の絵本作家・いわいとしおと メディアアートの第一人者・岩井俊雄は 同一人物だった！

大人気の絵本作家と、メディアアートの第一人者。一見、相反する異ジャンルのクリエイターの2つの顔を持つ、いわいとしお×岩井俊雄。母親から「もうおもちゃは買いません」と言われ、ものづくりに目覚めた子ども時代。その後、筑波大学芸術専門学群に進むと、映画やアニメーションの歴史に興味を広げ、19世紀に発明された「驚き盤」や「ゾートローブ」に新たな可能性を見出した。メディアアートの第一人者として活躍後、2006年より絵本作家としても活躍している。

作家にとって学生時代を過ごしたゆかりの地・茨城で開催となる本展では、子ども時代の発明ノートやパラパラマンガ、絵本原画やスケッチ、メディアアートの再現展示によって、アナログとデジタルにまたがる、その多種多様な表現世界の全貌と創作の秘密に迫る。

PICK UP

美術展覧会設営会社である有限会社アートワークスは、2001年、水戸芸術館近くに『ARTWORKS GALLERY』をオープンし、2010年に閉廊するまでさまざまな企画展を開催してきた。「ミニアチュール展」も企画展の1つであり、チャリティーとして9年間で4回開催されていた。

今回は、ロシアのウクライナ侵攻によって多くの市民が犠牲となっている状況の中、今、自分たちができることとして、多くの作家を繋ぐ役割のARTWORKS GALLERYを限定的に復活し、チャリティー展覧会「ミニアチュール展」を開催することとなった。

水戸市南町にあるカフェ・リベルの協力のもと、茨城県ゆかりのアーティスト111名による小さな作品を展示販売し、売り上げをウクライナ人道支援のために寄付する。

■ミニアチュール展事務局(アートワークス内) TEL.090-8816-0104(長峰)、TEL.090-2312-0926(福島)

ウクライナ人道支援チャリティー展覧会 「今わたしたちができること」

ミニアチュール2022

7月23日(金)~8月7日(日)



会場/カフェ・リベル(水戸市南町1-2-26)
11:00~19:00 【入場料】無料

話題の施設イベント・アート展覧会

この夏おすすめの施設イベント・展覧会をご紹介します。

星と海の芸術祭

JR大甕駅周辺

8月11日(木・祝)~28日(日)

この夏、日立市大みか町を舞台に 新たな芸術祭が幕を開ける

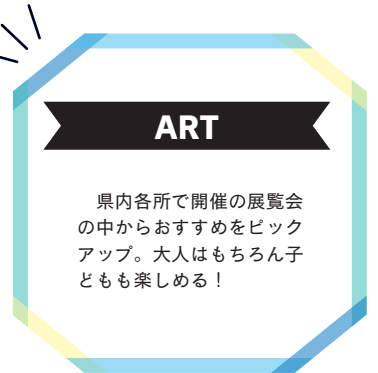
「まちでつくる、まちをつくる」をテーマに、アートを通して大みか町の町を盛り上げようという芸術祭が初開催される。きっかけは茨城新聞に掲載された、東弘一郎さん(東京藝大大学院生)が作品の保管場所を探しているという記事を読んだ、大みか町在住の島田洋次さんが場所の提供を申し出たことから。その後、島田さんとの交流を通し、この地で新しい芸術祭を開こうと東さんを中心に若手芸術家たちが集まった。大みか町は日立製作所の下請け企業などが多くあり、ものづくりの町であるが、近年は企業が減少するなど町にかつてほどの活気が感じられない。今回の芸術祭は、そんな地元にある工場や地域の人たちと関わり合いながら制作した大型の現代美術作品を、メイン会場となるJR大甕駅西口駅前とその周辺に展示する。会期中はワークショップや町歩きイベントなども行われるという。

【参加アーティスト】

東弘一郎、浅野ひかり、石原朋香、加藤健一、關田重太郎、鷹取詩穂、原倫太郎+原游、林奈緒子、深田拓哉

【会場】JR大甕駅西口駐車場、
その他 大みか町周辺地域
【作品鑑賞券】1,000円(小学生以下無料)現地会場にて販売。
※1枚につき1人のみ有効。
※イベントやツアーなどは別途料金や予約が必要な場合があります。

■おおみかアートプロジェクト
http://hitachi-omika.com
TEL.080-1151-6565(代表:東)
TEL.0294-53-0841(地域代表:島田)



県内各所で開催の展覧会の中からおすすめをピックアップ。大人はもちろん子どもも楽しめる！

※新型コロナウイルス感染防止対策のためイベントが中止・延期・変更になる場合があります。



東弘一郎「無限車輪」



浅野ひかり「あの日見た景色」